
砂時計

乃舞

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

砂時計

【Zマーク】

Z2595R

【作者名】

乃舞

【あらすじ】

自虐的な私と狂愛者のカズ。お互いが愛し合つには、なにもかも違い過ぎていたはずなのに…。傷を舐め合い、慰め、そして、また傷つけ…。そんな繰り返しの日々が狂い咲く。

はじめて出会つたあの日から動き始めた時計は、デジタルでもアナログでもなく、そつ、いつかはまた戻つてくる砂時計に近かつた。

『君は…僕の為に生きてるだろ』
ふと、そんな事を言うカズの顔が浮かんだ。
懐かしく砂時計なんかひっくり返したからだろうか。

え…あつ。

パン。

割れた音と息を呑んだの、
どちらが早かつたか。
そんなの分からなかつた。

砂時計が割れた。

フローリングにキラキラと硝子と砂が混ざり合つて、光つている。
ただそれだけが、過ぎた時間をもう戻せない事を感じさせた。
自分とカズ。

お互に依存していたのに、
今更離れるなんて無理だ…。
不可能。

「いつつ…」

時間とお互がばらばらになつた気がして慌てて素手でかき集める。
指先が切れ、赤い血が滲んだ。
構わなかつた。
カズとの時間がなくならないなら。
構わなかつた。

自分がカズの為に傷つく事くらい。

ただそれだけ、

カズを愛して依存していたから。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2595r/>

砂時計

2011年10月9日21時04分発行